

佐 潟 通 信

2014年8月

50号

◆春～夏のいきもの

【5～7月の開花・初認情報】

■植物

- 5月 6日 オドリコソウ
- 5月27日 ノイバラ
- 6月25日 ハス
- 7月 5日 イヌゴマ

■野鳥

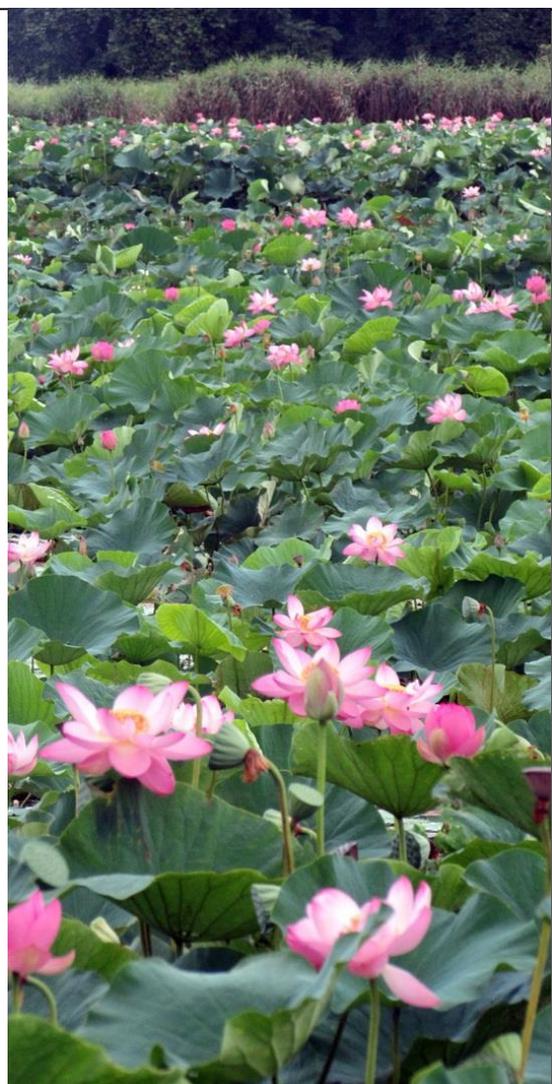
- 5月11日 コアジサシ
- 5月18日 カッコウ
- 5月20日 クロハラアジサシ

■昆虫

- 5月27日 アオスジアゲハ
- 6月 4日 コシアキトンボ
- 6月 5日 ゴイシジミ
- 7月 5日 チョウトンボ



今年もたくさんのおハスの花が咲いており、
長期間楽しめそうな雰囲気です（右）



◆潟の浚渫を行っています

佐潟の湖底の泥は、昭和の初め頃まで、潟の周囲の田んぼに上げて活用されてきました。湖底のドロ上げは土地を高くし稲を育てるために行われていましたが、潟の栄養分を外に排出し、結果的に水質改善にもつながっていました。時代の変化で田んぼが作られなくなると、ドロ上げも行われなくなりました。

現在では「潟普請」と称し、昔の知恵を参考にして潟をきれいにしようと、地域のみなさんが中心となりドロ上げやヨシ刈りなど毎年手作業で実施しています。しかし、湖底の泥は除去しきれず、潟の水は依然栄養豊富な状態を保っています。

H26年3月に改定された「佐潟自然環境保全計画」では、潟の保全について次のように謳われています。
かつて里潟として人の手が加えられていたように、
人とのかわりの中で多くの動植物が生息・生育する環境を守り育てていく。

新潟市では佐潟の水質改善を図るため、H26年度 機械による佐潟の浚渫工事を行うことになりました。8月中に完了し、効果や影響などの検証を行いながら、複数年度で実施される予定です。

潟のPRキャンペーン

新潟市 水の潟ログ

鳥屋野潟・福島潟 佐潟・上堰潟

潟のPRキャンペーンが4月19日～6月15日、新潟市の各潟を舞台に開催されました。佐潟では期間中、自然観察を楽しむバスツアーや新潟をテーマにした野外劇、潟の魅力をわかちあう潟自慢などの催しが行われました。



「プロジェクトCANI」の潟自慢コンテストでは高校生が作ったカードゲームで遊びながら佐潟の生態系を学びました→

←県内外から参加者のあったバスツアー。佐潟ボランティア解説員と潟を歩けば感動や発見がたくさん♪



←「DAIDOCO」のキッチンカーが登場！ヒシの実入りの葉膳スープは食べたなら笑顔になるやさしい味。

←湿地センターでは期間中、新潟の魅力的な景観100点を紹介する写真展「新潟百景」を「新潟自然を写す会」の協力で開催しました



「劇団あかつき」の野外劇。広大な佐潟の湖面を前にちいさな役者さんたちも大きな声で熱演！→



5/18 (日) 凧つくり凧あげ大会

カラフルなインバーダーカイトのほか、6畳大凧も揚がりました。

- 共催：佐潟と歩む赤塚の会
- 講師：しろね大凧と歴史の館
- 協力：新潟大学ダブルホームEホーム



7/27 (日) ぼくとわたしの夏休み 佐潟の昆虫だぁ！

講師のお兄さんたちとたくさんの昆虫を観察しました。

- 共催：佐潟と歩む赤塚の会
- 講師：新潟大学いきものサークル・新潟薬科大学自然史研究会・新潟西高校生物部



8/3 (日) 親子絵手紙体験教室

昆虫やカメなどをモチーフに暑中見舞を作りました。

- 講師：高山久美子先生
- 協力：寺尾上町絵手紙教室の皆さん



◆佐潟通信50号発刊

佐潟通信は、佐潟水鳥・湿地センター開館翌年から年1～4回のペースで発行してきました。今後とも佐潟の今をお伝えしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、過去の通信(26号以降)はホームページから閲覧可能です。
<http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/kankyo/seikatukankyo/shizenfureai/sakata/tuusin/index.html>

お知らせ 【佐潟まつり】

8/23(土) 15:00-21:00
夜の湖面を灯す「佐潟万燈籠」

佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9：00～16：30（冬期間11月から2月の土・日は7：00から）
 【休館日】月曜日（祝休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

編集 佐潟水鳥・湿地センター

〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
 電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051
 E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係

〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
 電話025(264)7193

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。